

令和3年度 入間川中学校区小中一貫教育推進事業

1 研究主題 心豊かでたくましい「入間川っ子」の育成

2 研究への取組方針・重点目標

学力向上・基本的な生活習慣の確立・小中の円滑な移行を3つの柱とした。

A 学力の向上

- ・合同研修会で入間川中学校区の学力の課題を把握する。
- ・「全国学力・学習状況調査」や「埼玉県学力・学習状況調査」の結果を分析し、小中一貫としての手立てを検討する。

B 基本的な生活習慣の確立

- ・生徒指導面での両校の課題を把握し、小中一貫としての手立ての検討を行う。
- ・「学習規律」について9年間を見通し、指導をそろえられる部分を検討する。

C 小中の円滑な移行

- ・中1ギャップを解消するために、児童生徒の交流について検討する。
- ・合同で行える行事や合同授業について内容や日程を検討する。

3 研究への取組・研究経過・活動報告

- ・6月には、小中連絡会、小中運営協議会を中学校で行い、中学校の授業参観から、1年生の情報交換を行った。
- ・夏季休業中に小中合同での研修会を予定していたが、感染症拡大防止のため、合同では行わず、各校で「全国学力・学習状況調査」や「埼玉県学力・学習状況調査」の結果を分析し、それぞれの学校の課題を把握した。
- ・9月に中学校の体育祭のダンス見学会を計画していたが、感染症拡大防止のため中止した。
- ・10月に小学校で小中運営協議会を行い、小学校の授業参観を行った。また、各校の課題を共有し、地域との連携を図った。
- ・2月に中学校で新入生保護者会を実施した。小学6年生を招待し、体験入学・体験入部を計画していたが、感染症拡大防止のため中止した。
- ・3月に小学校で新入生入学説明会及び小中連絡会を行い、小学6年生の情報交換を行うと共に、小学6年生に対して生徒会や部活動の紹介動画を見せて中学校のイメージを持たせた。

4 成果と課題

(1) 成果

- ・少ない機会ながらも、小学校と中学校で情報交換を行うことができた。
- ・映像を使って、小学生に中学校のイメージを持たせ、小中の円滑な移行につなげられた。

(2) 課題

- ・感染症拡大防止のため、合同での取り組みの中止があった。今後、集合しない形で連携を取っていく工夫が必要である。
- ・小中一貫教育のため、9年間を見通したカリキュラムに向けて、小中で指導をそろえる部分が必要である。基本的な生活習慣の確立など生徒指導面から検討していきたい。
- ・過去には、ミニバス交流会や吹奏楽合同演奏会など中学生が小学生に指導する行事や各校のバザーやお祭りに参加する機会もあったが、現在は行えていない。感染症対策をしながら、合同で行える行事について検討していきたい。

以上